

教えてネ 地域のお話

明るく楽しく健康に 飯島地区コミセンで 広がる笑顔の輪！

「コミセンさ、遊びにけー！」。タイトルを聞いただけで、何だかワクワクしそうな催しが、毎月第1水曜日、飯島地区コミュニティセンターで開催されています。

これは、飯島地区の町内会連合会、コミセン管理運営委員会、社会福祉協議会、民生児童委員会が連携して、地域住民の健康と生きがいづくりを目的に昨年6月から実施しているものです。毎回午前は「昔懐かしい名画鑑賞会映画」、午後はカラオケや囲碁・将



健康カラオケ



熱唱、熱唱、また熱唱！



健康マージャン



手芸教室。
ちゃんのお人形を作りました♪



棋、健康マージャン、手芸などのグループにわかれ、みなさん思いの時間を過ごします。

前述の各種団体が結成し、この会を主催する「飯島コミセンで遊び隊」の隊長・成澤喜孝さんは、「明るく楽しく健康に」を念頭に活動し、おかげさまで毎月100人を超えるかたが参加しています。これからは、若い世代が興味を持つてもらえるような講座も考えていきたいですね」と意気込みを話してくれました。

次回開催は3月7日(水)です。直接会場へお越しください。興味のあるかたは、飯島地区コミセンへお問い合わせください。

☎(845)1731

除雪ボランティアが 今シーズンも活動中



積雪で、窓ガラスが割れる危険がある場所などを丁寧に除雪しました

毎年、企業や団体のみなさんが登録して活動している除雪ボランティア。今期は、まとまった降雪があった1月下旬から本格的に稼働しています。

1月29日には雄和地域で、市職員など6人が対象世帯の軒下に積もった雪を協力して排雪していました。

除雪ボランティアを派遣します

派遣できる対象は、高齢者のみの世帯などで、自力で除雪ができない、市内に親子・兄弟などがない、業者への除雪依頼が経済的に困難であるといった要件があります。詳しくは、秋田市社会福祉協議会へお問い合わせください。☎(862)7445

みんなの福祉をみんなの手で。

秋田市社会福祉協議会で行っているたくさんの方の事業から、みなさんに身近な福祉サービスを紹介するコーナーです。

◆ひとりで悩んでいませんか◆

福祉、生計、家族関係、結婚、離婚、人権、法律、財産、苦情など、さまざまな悩みごとの相談に応じています。



受付時間は、午前9時～午後4時(平日)。訪問相談にも応じます。ひとりで悩まず、まずはお気軽にご連絡ください。

ふれあい福祉相談センター

☎(863)6006

■弁護士による無料法律相談

事前予約が必要です。開催日時は、原則、毎月第3月曜日、午前10時～正午ですが、都合により変更となる場合がありますので、詳しくはお問い合わせください。

秋田市社会福祉協議会

(八橋南一丁目8-2)

☎(862)7445

FAX(863)6068



広報 クイズ No.306



広報クイズは、毎月第3金曜日発行号に掲載しています。正解したかたの中から抽選で10人に図書カード1,000円分を差し上げます。

広報あきたや市政テレビ番組の感想などを添えて、ご応募ください。

Q1 米元・田中選手に「秋田●●●●●」市民賞、! ●に入るひらがなは?

Q2 ●月から屋外広告物の安全点検が義務化。●に入る数字は?

* 答えは広報あきた2月2日号・16日号の記事中から探してね♪

応募方法(抽選は1人1件です)

はがき、FAX、Eメールに、「広報クイズ」と明記し、答えと住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、2月26日(月)(必着)まで、〒010-8560 秋田市役所広報広聴課 FAX(888)5472

Eメール ro-plpb@city.akita.akita.jp

* 採用された際、氏名の掲載を希望しないかたは、ペンネームも忘れずにお書き添えください。

1月19日号の当選者(敬称略)

前回のクイズの答え

Q1=(3月)24日 Q2=職場(環境に)

当選者 ▶あけっち(八橋)、澁谷律子(仁井田)、鈴木克昌(山王)、田口 辰(中通)、田中久雄(飯島)、那須綾子(雄和)、ピオーネ(新屋)、堀田栄子(土崎港)、まさと(牛島)、三浦真紀子(飯島)

* 応募総数147件のうち、正解は143件。

担当から



今冬は、例年より寒さが厳しいですね。つい出不精になって、休みの日は部屋でゴロゴロしがちに…。

先日、毛布にくるまりミカンを食べながらテレビを見ていたところ、飼い猫がおなかの上に。甘えてというよりは、私のおなかを床暖房の代わりにしている感じ。かわいいけど、ちょっと重いかなあ(建太朗)

ちょっと一息 読者の伝言板



●もうすぐ2歳になる子どもがいます。広報あきたに載っていた「子どもを生み育てやすい職場環境」の取り組み、素晴らしいですね。もっと「認定企業」が増えるとうれしいですね

(はやママ 28歳・泉)

●広報の「子どもを育てやすい職場環境」の記事内で、認定企業名に心あたりのあるものが数社あって、うれしい限り

です。もっと増えるよう願っています。仕事と子育ての両立は家族からの協力も大事ですが、市や社会全体での理解が重要ですよ

(リリバーバ 64歳・下新城)

●11月に団体向けの陶芸体験バスツアーに行ってみようと思って、初めての血作りで、絵心もなく苦労しましたが、楽しい時間を過ごすことができました。今度はガラス工房で体験してみたいです

(こまち 50代・旭川)

●ストーブを新しくしました。最新のストーブは、1日の使用量がわかるのです。この寒さで使用量が急に倍近くにも増

えました。ビックリ。どうりで灯油宅配車が頻繁に走っています

(コートジボアール 68歳・川尻)

●夫婦で仙台へ旅行に出かけたのですが、バスに乗ってビックリ。10代から80代のおばあちゃんまで、全員がICカードで乗り降りしていました。現金支払いは観光客のみ。秋田もいつかはこうなるのだろうか

(いちご日和 30歳・牛島)

●今年は何年。しかも大厄です。「でもでもでもでも、そんなのかんけいねー(小島よしお風)」の勢いで毎日楽しく過ごします!

(すみれ 31歳・将軍野)

食肉衛生の研究が評価されました

厚生労働省主催の「食肉及び食鳥肉衛生研究発表会」において、全国から推薦された26の演題の中から、秋田市食肉衛生検査所の柴田千秋主査(上の写真)が発表した、牛の腫瘍に関する研究結果が、「全国食肉衛生検査所協議会会長賞」に選ばれました。

今後も、食肉衛生検査所では、食肉の安全のため、各種研究に努めてまいります。☎(882)2395

